

「よい会社」に関する研究

教授 出見世 信 之

1. 研究内容

皆さんは、どのくらい会社のことを知っていますか。また、「よい会社」とはどのような会社だと思っていますか。利益をたくさん出していれば、よい会社でしょうか。あるいは、株価や賃金が高い会社でしょうか。それとも、社会が求める財貨やサービスを安価に大量に提供し続ける会社でしょうか。環境にやさしい会社や女性が働きやすい会社はどうでしょうか。数ある会社の中には、「エクセレント・カンパニー」や「グレート・カンパニー」などとして、評価される会社もあります。会社は、株主、従業員、顧客、取引先、地域社会など、様々な利害関係者と関係を持ちながら、事業活動を行っています。それらの利害関係者の中のうち、誰のためのよい会社であるのかを考えることにより、その答えは変わります。また、例えば、「株主」と言っても、個人投資家、年金基金、投資ファンドなど、様々な株主がいることは言うまでもありません。株式を所有する目的はそれぞれ異なります。

本演習室では、企業とSDGs（持続可能な開発目標）との関わりを含め、CSR（企業の社会的責任）や企業倫理などの視点を交えて、社会にとって「よい会社」について考えていきます。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期はそれぞれのテーマ研究に先立って、基本的な全体学習やケース討論を行う予定。

秋学期は基本的な全体学習に加えて、担当教員が与えた課題について個々に発表を行う予定。

夏期休暇および春期休暇中に勉強会等を実施するが、2年生のみの合宿は実施しない予定。

《3年次》

春学期は具体的なテーマを対象としてグループ研究を行う予定。

秋学期は具体的なテーマを対象としてグループ研究・個人研究を行う予定。

合宿は夏期休暇中に実施する予定であるが、学内での勉強会に代える場合もある。

《4年次》

春学期は卒業論文作成に向け、具体的なケースに基づいて研究を行う予定。

秋学期は卒業論文の作成と指導を行う予定。

4年生のみの合宿は行わない予定。

3. 教材

小山巖也他著『問いからはじめる 現代企業』有斐閣、

鈴木秀一他著『経営のルネサンス』文真堂などを使用する予定。

4. 成績評価の方法

課題への取組み姿勢、成果報告、授業中の発言等、総合的に評価します。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

商学部主催のプレゼン大会への参加、他大学との合同勉強会、卒業生との勉強会、工場見学、企業訪問、合宿など、教室の外でも様々な活動を行います。こうした活動に積極的に参加する意欲のある学生の方を希望します。また、交換留学生を受け入れることもあります。